

# 四万十市文化複合施設実施設計委託業務 設計説明書

< 概要版 >  
公開Ver.

2021年6月

四万十市

東畑建築事務所・鳥設計共同企業体

外観パース	01~03
内観パース	04~06
整備コンセプト	07
空間コンセプト	08
計画地概要	09
建築概要	10
配置計画	11
平面計画	12
動線・セキュリティ計画	13
ホール整備コンセプト	14
大ホール計画	15~17
小ホール計画	18



スクエアパークからの外観イメージ



スクエアパークからの外観イメージ (夕景)



五月公園からの外観イメージ



1階交流ロビーイメージ



2階交流ロビーイメージ



2階ホワイエイイメージ



## まちとつながり、賑わいが溢れ出す交流拠点施設



プロポーザル時の外観イメージ

計画地は、幡多地域の核である中村エリアの中心に位置。周辺地域からの交通網や中村駅と史跡が多く残る市役所周辺地域とを結んだ中間地点でもある。この立地条件を活かし、市民の交流・創造の拠点であることに加え、周辺地域や観光客への情報・文化の発信拠点として、四万十市民のシビックプライドをはぐむ施設として整備。



プロポーザル時の五月公園側イメージ

### 四万十市の文化・情報を『発信する拠点』

- ・土佐の小京都に相応しい繊細な佇まい、地場産材の活用による、幡多地域のシンボルとなる拠点施設。
- ・観光客や市外周辺地域からの人々が地域に立寄りかけづくり。
- ・歴史や観光などの情報発信コーナーを充実し、訪れた人々に四万十市を知ってもらい、地域に滞在してもらう仕掛けづくり。

### 人と地域をつなぐ『交流・賑わいの拠点』

- ・決まった目的がない人も訪れてみたいくなるような、居心地の良い憩いの空間やさまざまな居場所。
- ・訪れた市民や目的の異なる人同士が出会い、地域コミュニティの結びつきや賑わい。
- ・周辺地域をつなぐ拠点として、外部に賑わいやアクティビティがにじみだす設え。

### 豊かな文化生活・人材育成を『支える拠点』

- ・質の高い文化芸術に触れられる施設として、本格的な公演に必要な演出・音響性能を備える。
- ・市民の様々な文化・創造活動の場として、多様な利用や使い方の変化に対応できるフレキシビリティを確保。
- ・文化創出を担う『次世代育成』を支える文化施設。



プロポーザル時のイベント利用イメージ

## 四万十市の豊かな自然に呼応する

市の中心部は四万十川によって形成された沖積平野である中村平野が広がっています。市域の大半は山林であり、自然の流れのままの清流である四万十川を中心にその流れを支える流域の豊かな自然環境、そして川と生活が触れ合う地域文化があります。

そんな四万十市に新たな整備される本施設では自然が持つ豊かさや複雑さを施設の中に内包させることで、自然と共生する四万十市ならではの施設を計画します。

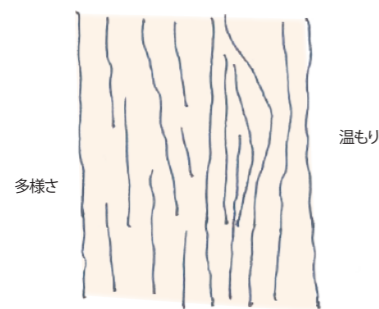
豊かさと複雑さで無限の多様性を内包する自然に勝ることはできませんが自然の持つ多様さを施設の中に取り込むことで、その豊かな自然に呼応することができます。

市民が自然と集い、風が通り抜け、活動の音が響き、賑わいが四万十川の流れのように穏やかに、大きく広がっていく、そんな文化複合施設となります。



### 自然素材を使う

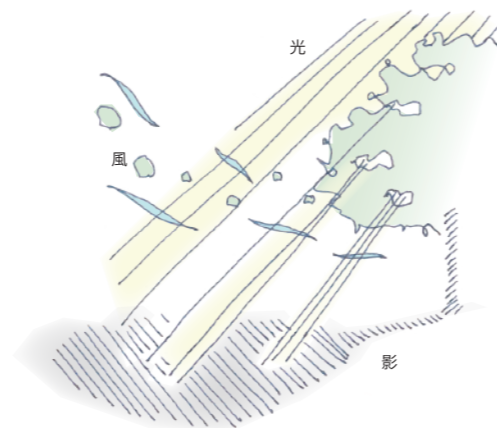
- ・しまんとヒノキなどの自然素材による柔らかく穏やかな表情。



しまんとヒノキ、石材

### 自然を取り込む

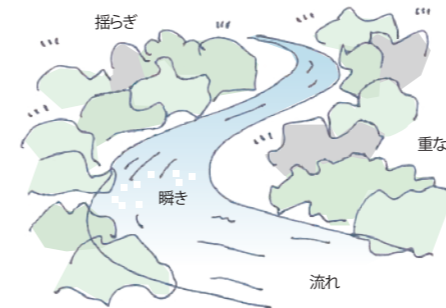
- ・ハイサイドライトから柔らかく注ぐ自然光。
- ・風が通り抜ける建物構成。
- ・陰影のある豊かな表情の仕上げ。



光・風・陰影

### 自然の様相を取り入れる

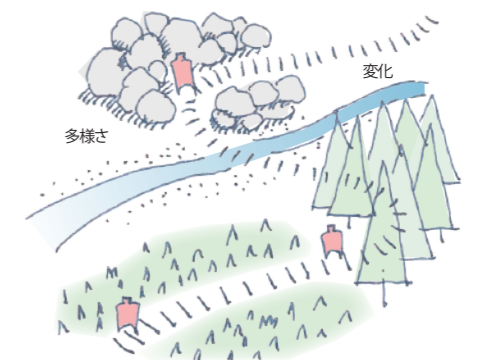
- ・蛇行する四万十川の流れのような豊かな曲面。
- ・木々の重なりのように素材の重なりによって生まれる多様な表情の変化。



流れ・揺らぎ・瞬き・重なり

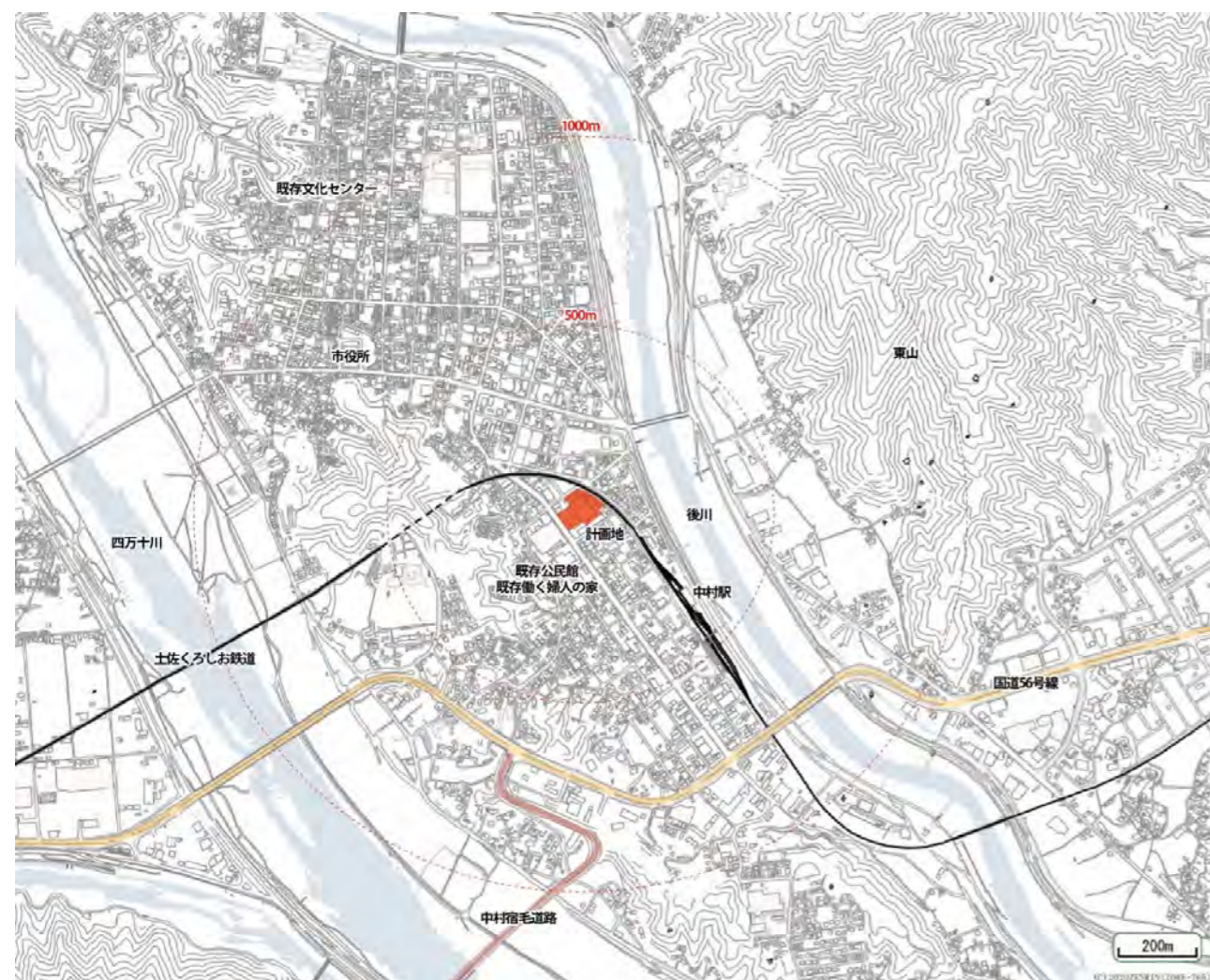
### 外にいるような空間体験

- ・外部から連続する屋外の仕上げ。
- ・スケールや素材の変化。
- ・インテリアとして作り込みすぎない。



まちや自然を散策するように空間の大きさや素材が変化するシークエンス

■ 広域的立地



Z18KD第1008号

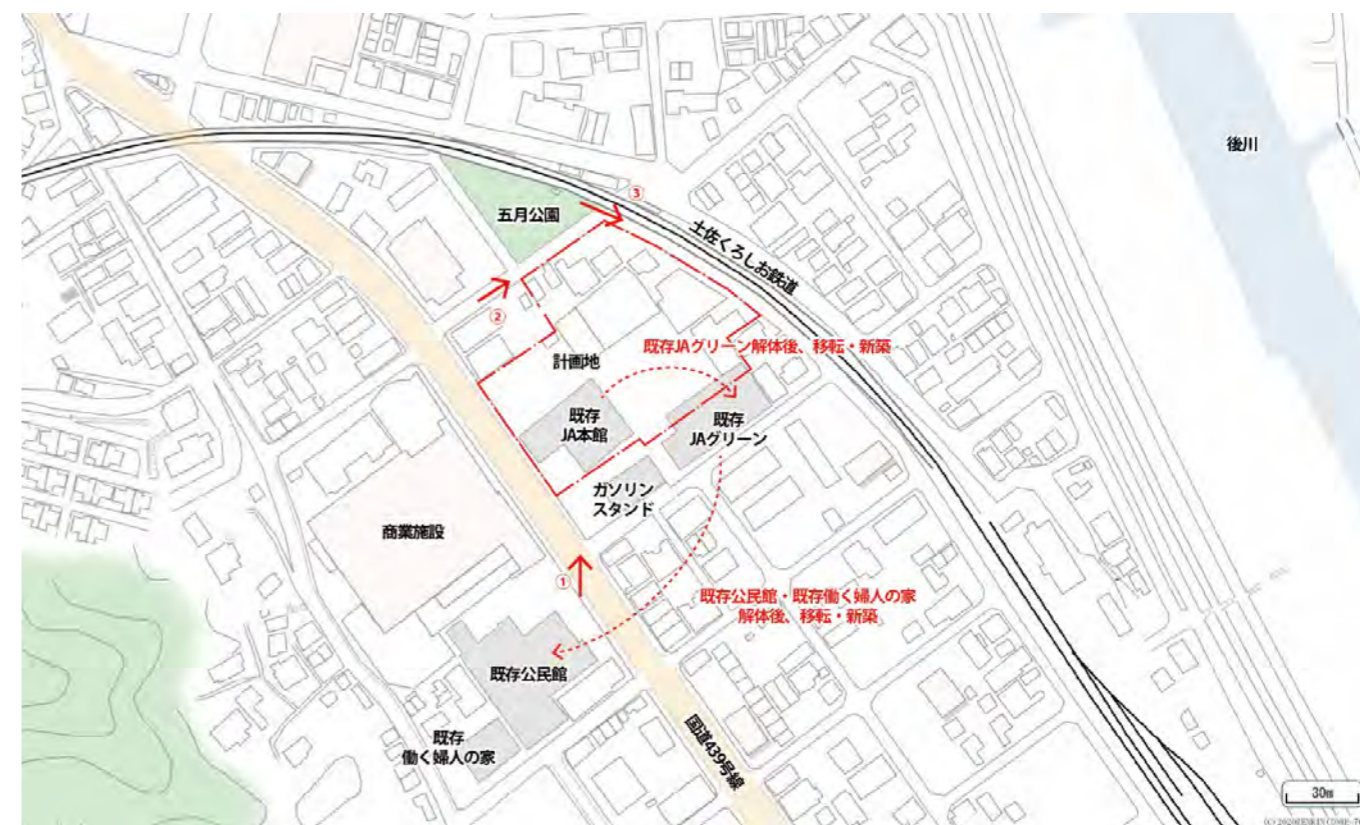
高知県南部に位置する当市は高知県西部、幡多地域の中心都市です。  
 市の中心部付近は四万十川によって形成された沖積平野である中村平野が広がっています。  
 計画地は中心市街地に位置し、南側を通る国道56号線からもアクセスし易い立地となっています。  
 南東約500mに位置する中村駅（土佐くろしお鉄道）からも徒歩でアクセス可能な交通の便のよい立地条件となっています。

■ 敷地概要

計 画 敷 地： 高知県四万十市右山五月町地内  
 都 市 計 画 区 域： 区域区分が定められていない都市計画区域  
 用 途 地 域： 第一種住居地域（北側） 商業地域（南側）  
 建 蔽 率： 60% 80%  
 容 積 率： 200% 400%  
 防 火 地 域： なし 準防火地域

そ の 他 の 規 制： なし  
 主 な 法 規・条 例： 高知県ひとにやさしいまちづくり条例  
 敷 地 面 積： 7,316.90㎡  
 前 面 道 路： 国道439号線（都市計画道路安並右山線） 幅員 18.0m  
 法42条1項2号道路

■ 附近見取図



Z18KD第1008号

敷地南西の国道439号線が歩行者及び車で訪者のメインアクセスとなります。  
 北西には五月公園に位置し、南東には新JA本館再整備されます。  
 北側に土佐くろしお鉄道が走っており、鉄道からの車窓から当敷地を望むことができます。



①国道側



②五月公園と土佐くろしお鉄道



③北側道路

■ 建築概要

主 要 用 途： 劇場、銀行の支店

【建基法】劇場：08530、銀行の支店：08458

【消防法】劇場：1項イ、銀行の支店：15項（複合：16項イ）

敷 地 面 積： 7,316.88 m<sup>2</sup>

駐 車 台 数： 利用者用71台（うち車いす使用者用2台）

関係者用9台

主 な 法 規 ・ 条 例： 高知県ひとにやさしいまちづくり条例【該当するが申請は不要】

■ 面積表

棟名	建築面積	床面積	容積対象面積
① 本館	4,293.01 m <sup>2</sup>	6,922.44 m <sup>2</sup>	6,862.70 m <sup>2</sup>
② 駐車場棟	44.30 m <sup>2</sup>	43.65 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>
合計	4,337.31 m <sup>2</sup>	6,966.09 m <sup>2</sup>	6,862.70 m <sup>2</sup>
建蔽率	59.28 %	容積率	93.80 %



■ 建物別概要

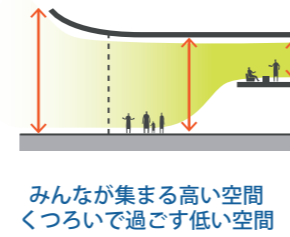
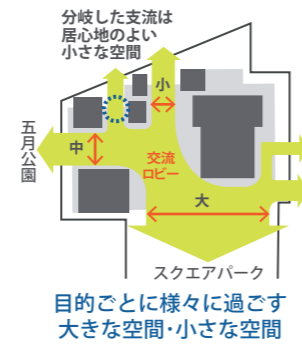
	① 本館		② 駐車場棟	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造		鉄骨造	
規模	地上4階		平屋	
建物高さ	29.74 m		3.47 m	
面積表	床面積	容積対象	床面積	容積対象
4階	69.47 m <sup>2</sup>	69.47 m <sup>2</sup>		
3階	636.16 m <sup>2</sup>	630.35 m <sup>2</sup>		
2階	2,391.51 m <sup>2</sup>	2,381.07 m <sup>2</sup>		
1階	3,825.30 m <sup>2</sup>	3,781.81 m <sup>2</sup>	43.65 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>
合計	6,922.44 m <sup>2</sup>	6,862.70 m <sup>2</sup>	43.65 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>



## 訪れた市民が思い思いの場所をみつけ 多様な文化活動の受け皿となる施設

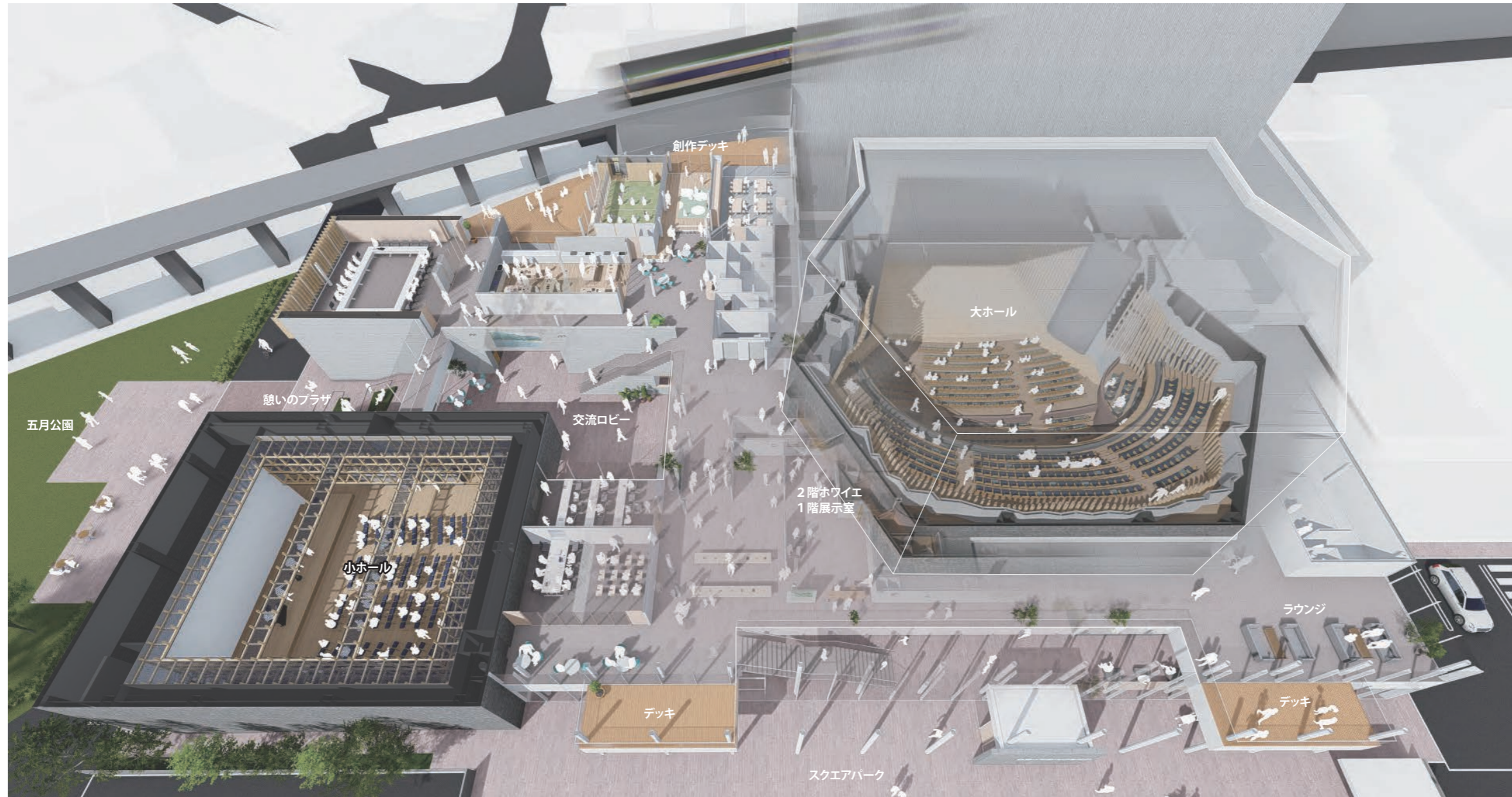
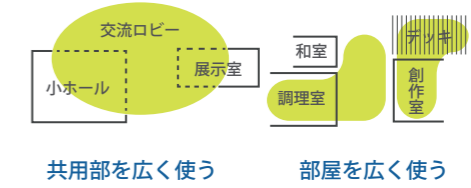
### 日常もさまざまに賑わう交流ロビー

- ・イベントのない時も誰もが気軽に訪れ、日常的に賑わい・出会う『交流ロビー』をつくります。
- ・市民や観光客の多様な活動・交流には、大小さまざまなスケールの空間が必要です。
- ・大きな空間は、大勢が集まれる交流の場所です。小さな空間は、少人数での活動や日常の居場所になります。
- ・天井の高い気持ちのよい空間や、天井の低いくつろげる空間で、それぞれの目的に応じて思い思いに過ごせます。



### 余すことなく使う

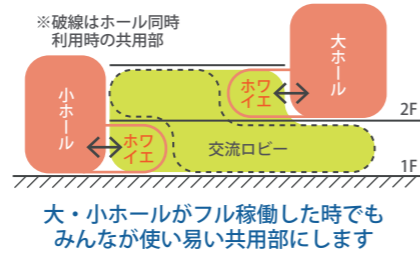
- ・ホール利用時以外は、ホワイエを共用部の延長として開放し、市民の日常の交流の場・居場所をさらに確保します。
- ・大・中楽屋はホール利用がない時には貸し会議室として市民が利用できるようにし、施設全体の稼働率を高めます。
- ・利用者ニーズを把握し、共用部をうまく取り込むことで施設全体を余すことなく利用する計画とします。



## 明快なゾーニングによる機能的な平面計画

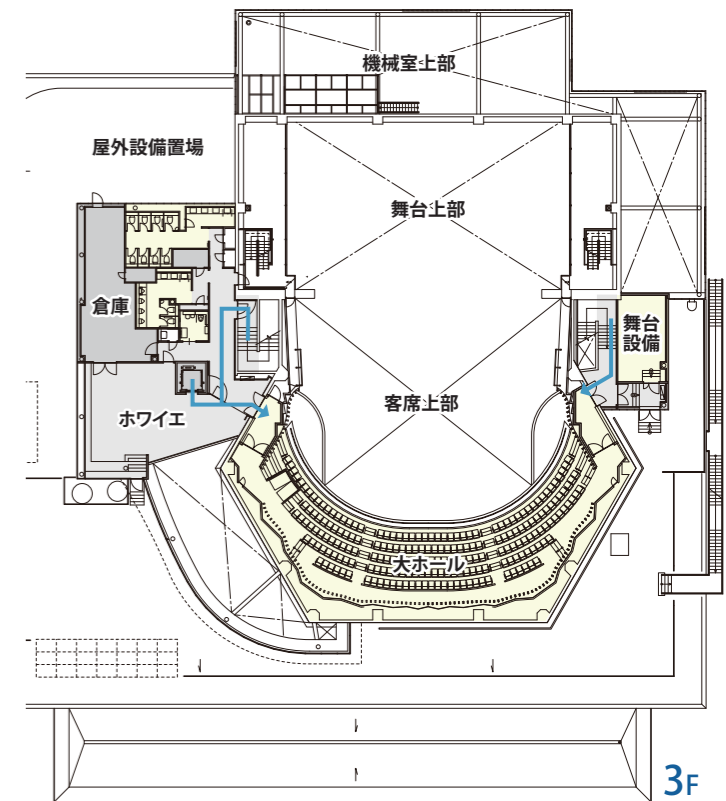
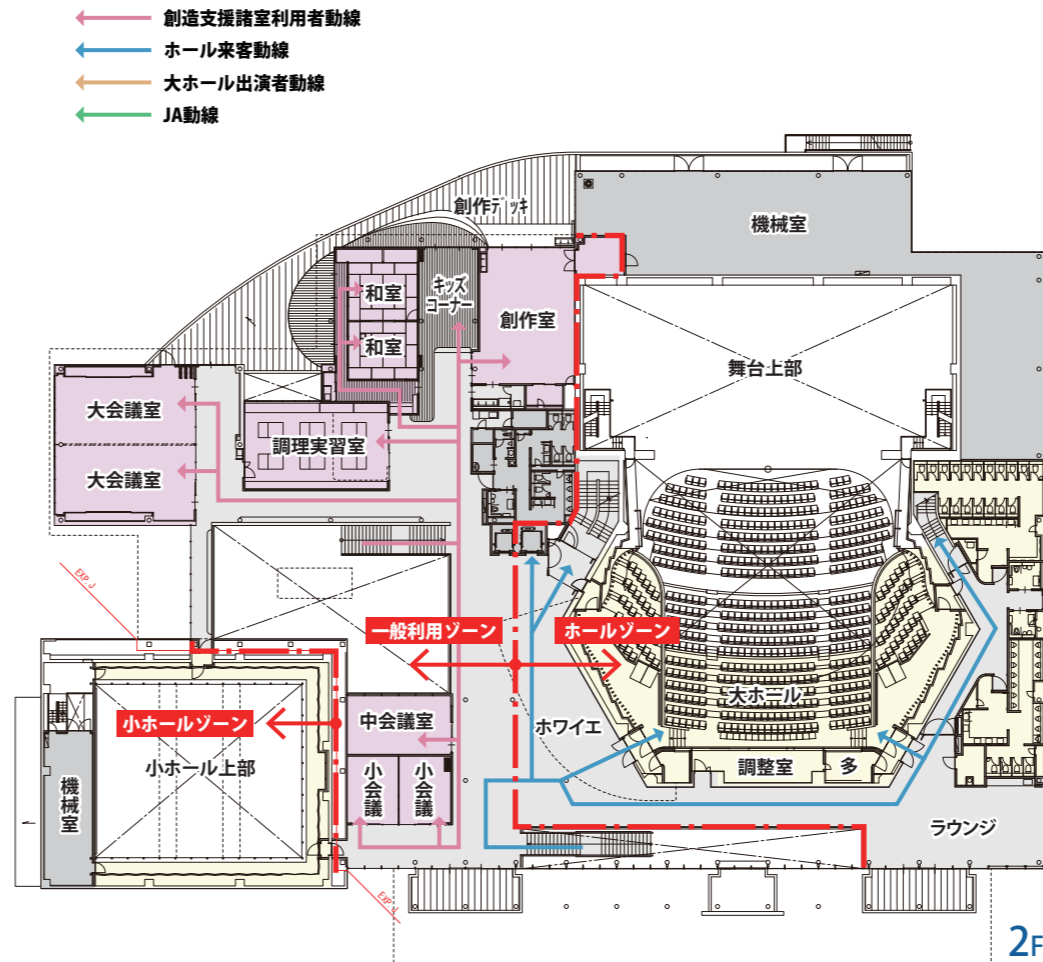
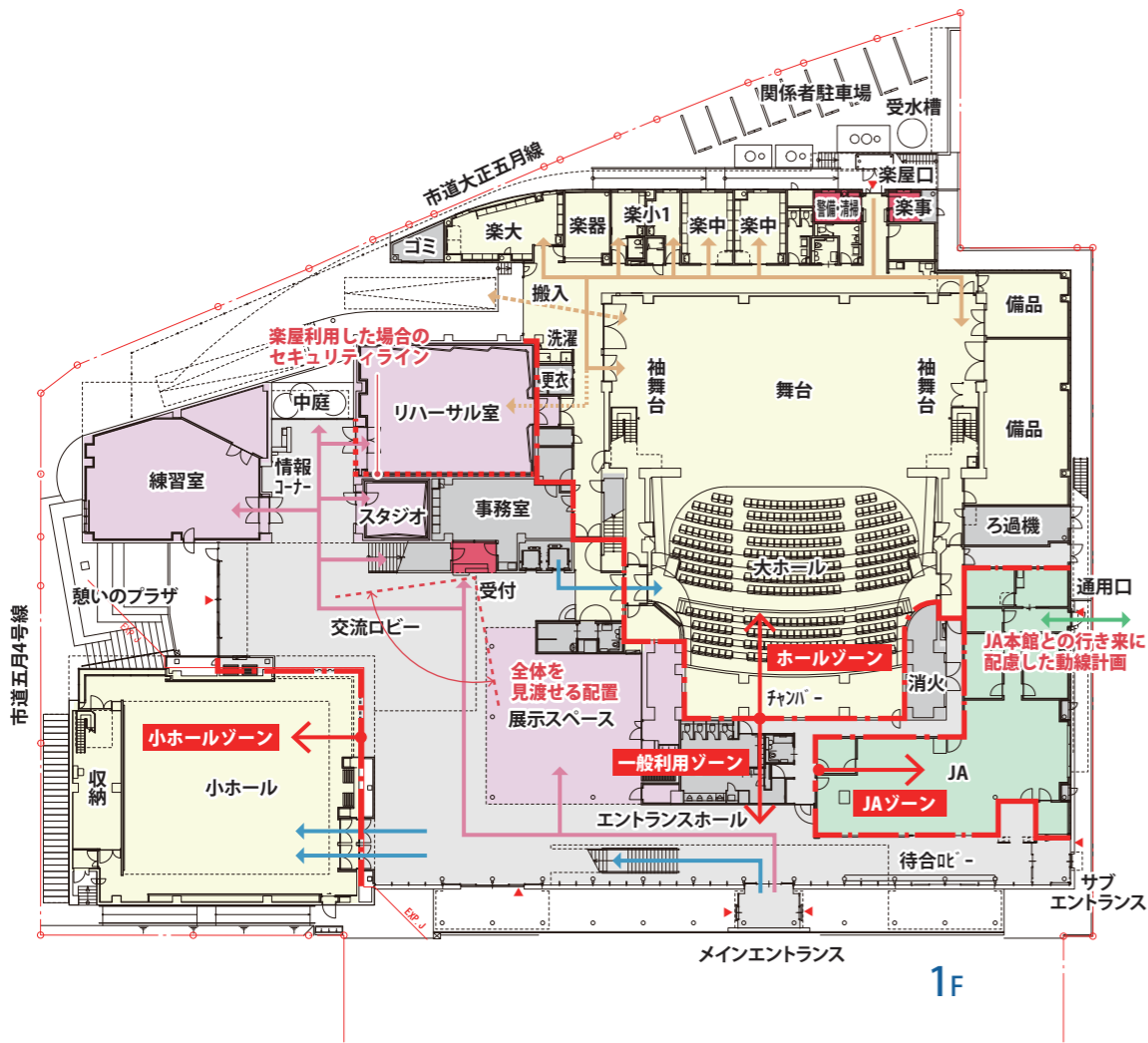
### 分かりやすい施設計画

- ・吹抜け空間によって各室が見渡せ、行きたい場所が直感的にわかるような空間となります。
- ・大ホールのもぎりを2Fに配置することで、大ホール利用時や、小ホールとの同時利用でも市民の日常の活動動線はしっかりと確保する使い易い施設とします。



### 様々な利用にも対応可能なフレキシビリティ

- ・JAの窓内が閉店した後はカウンター部分をセキュリティ区分することで、待合ロビーを市民の皆様には開放することが可能になります。
- ・リハーサル室を楽屋利用した場合のセキュリティ区分にも配慮します。



大ホール・小ホール利用時の動線・セキュリティ区分イメージ [S=1/600]



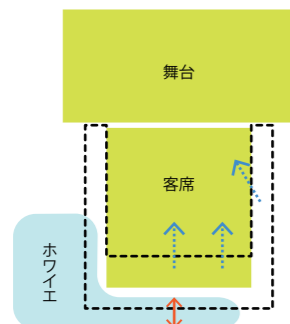


## 多様な客席空間と多様な利用形態を実現する四万十ワインヤード

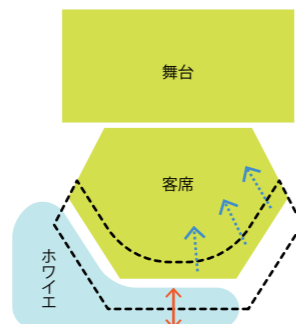


### 六角形の客席プラン

- 柔らかく囲むような形体によって求心性が生まれ、客席空間の一体感が創出されます。
- 矩形プランと比して、バルコニー席などの舞台が見えづらい席が発生しにくい形体となります。
- もぎり後のホワイエ空間に人溜まりが確保でき、ボトルネックが解消され、人の流れがスムーズになります。



矩形プラン



六角形プラン

### 多様な利用形態に対応する客席空間

ワインヤード型とはぶどう畑(段々畑)のように段上に客席を分割した客席形式でシューボックス型(矩形)ホールと比較して動的でよりダイナミックな空間となります。  
ワークショップでの意見が多かった以下の意見を踏まえ、

『周辺地域に類を見ない四万十のオリジナリティ』  
『小規模利用など様々な利用』

幅多地域に類を見ないワインヤード型による多様な客席空間と多様な利用に応える四万十オリジナルの『四万十ワインヤード』の客席空間としています。



300席程度



450席程度



600席程度



800席程度

# プロも市民も使いやすい市民に親しまれる大ホール

## 四万十市の木に包まれた客席空間

- ・四万十の自然と呼応するように、流れや重なり感を表現する木のスクリーンが客席空間を柔らかく包み込みます。
- ・市民が訪れた人に自慢できるような、市民に親しまれるホール空間となります。

## 市民の多様な利用形態に対応する

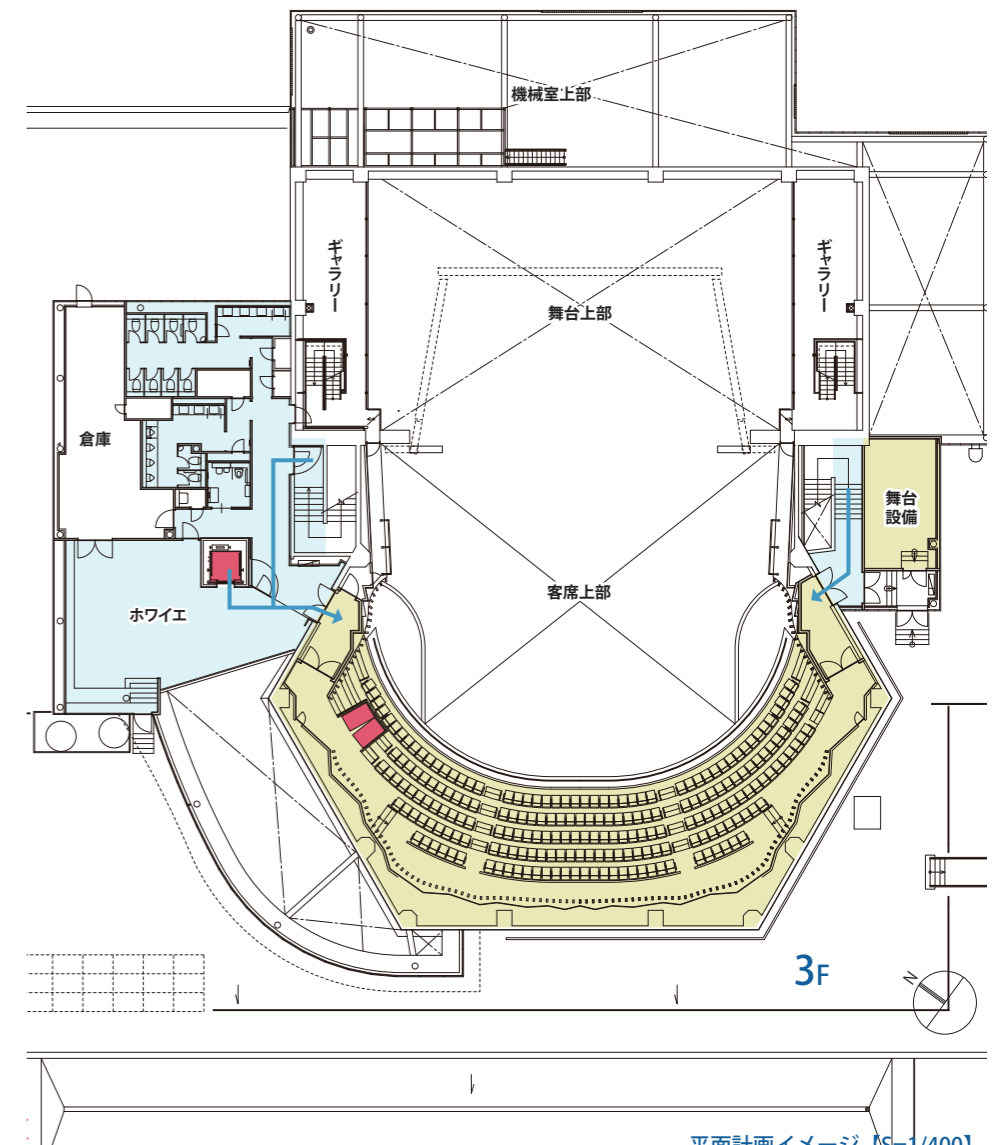
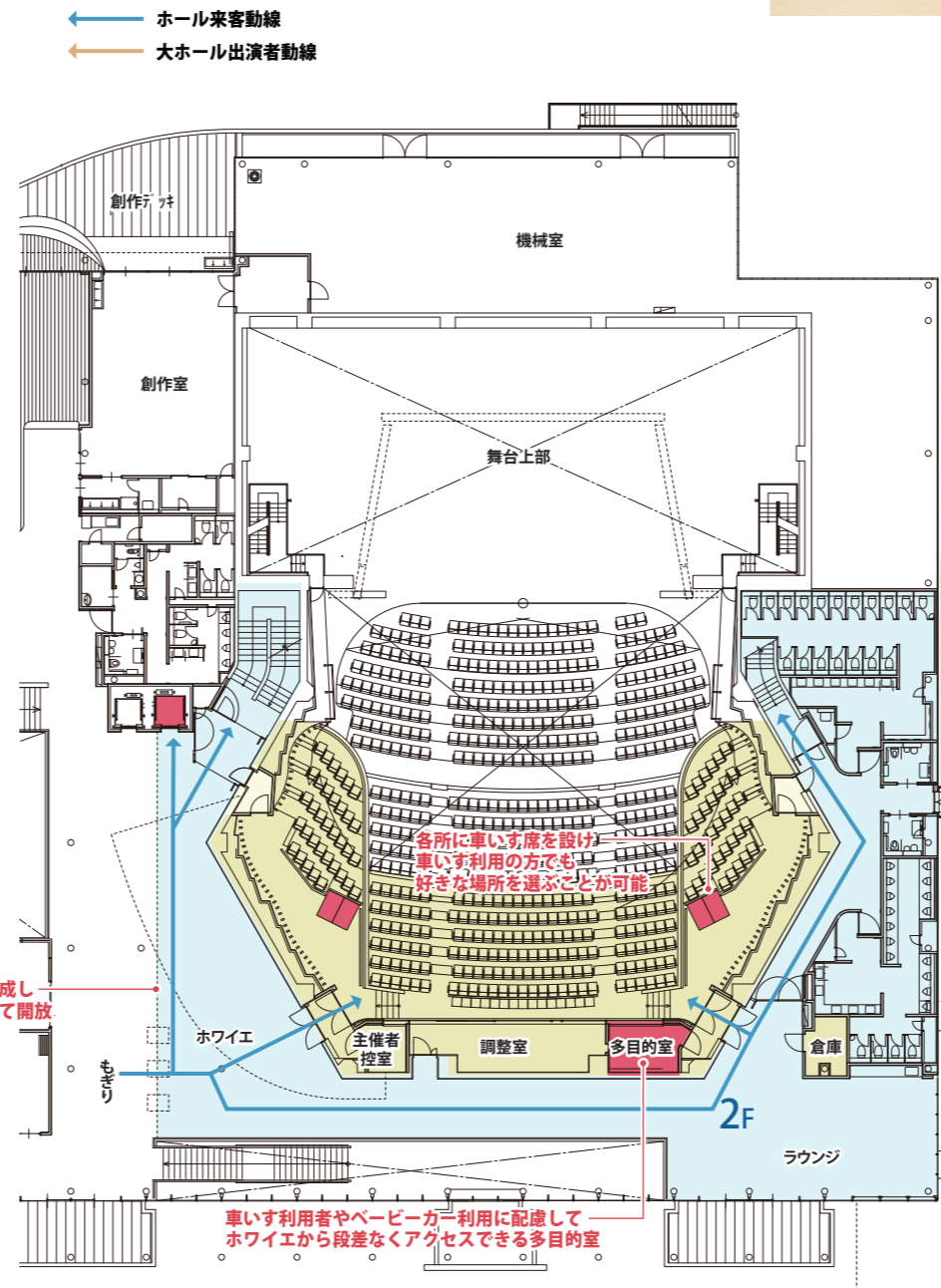
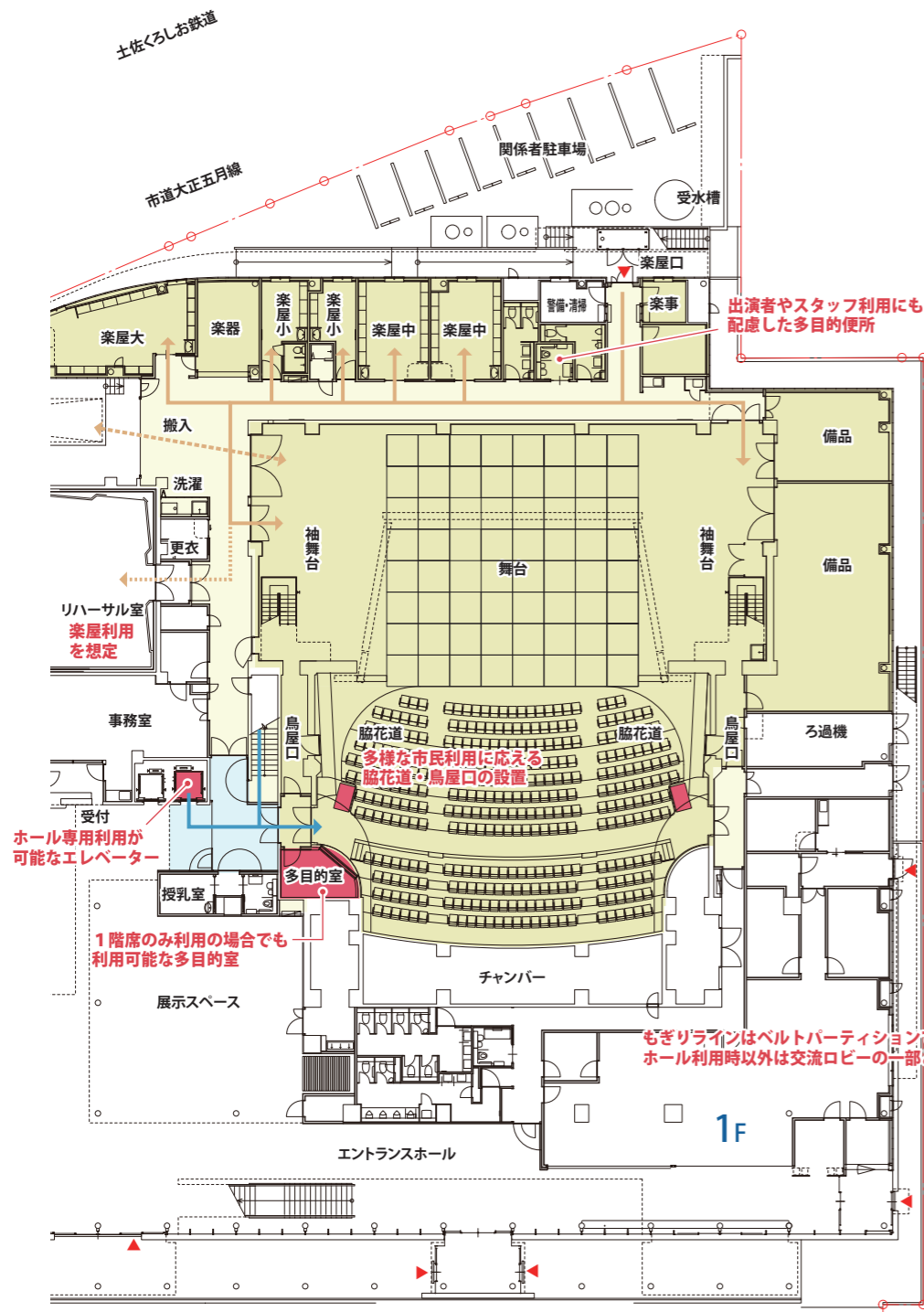
- ・脇花道や鳥屋口を設け、プロ利用はもちろんのこと、多様な市民利用に応える計画としています。
- ・1階席のみや、前方席のみなどの少人数での利用の際にも、空席が気にならないような工夫を施します。

## ユニバーサルホールの実現

- ・利用者ニーズを最優先に考えて、エレベーターは2台設け、大ホール利用時には専用利用が可能な計画とします。
- ・大ホールには多目的室を2室設け、様々な利用形態にも対応できる計画とします。
- ・車いす席を各所に設け、車いす利用者も好きな座席を選ぶことができます。



客席空間の断面イメージ



平面計画イメージ【S=1/400】

## 利用演目によって異なる表情を見せる新たなプロセニウム形式



プロセニウム形式イメージ (式典セット)



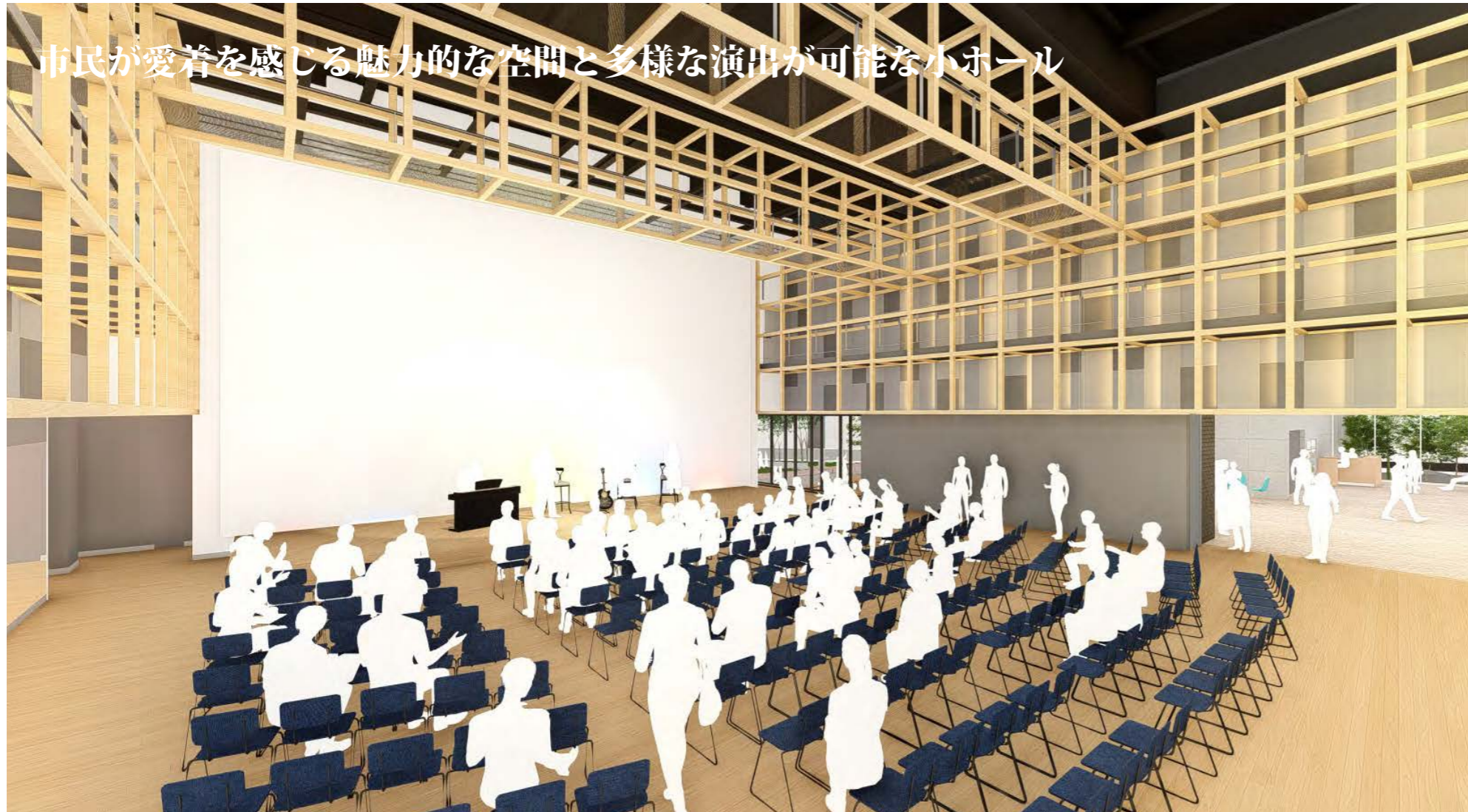
プロセニウム形式イメージ (舞台セット)



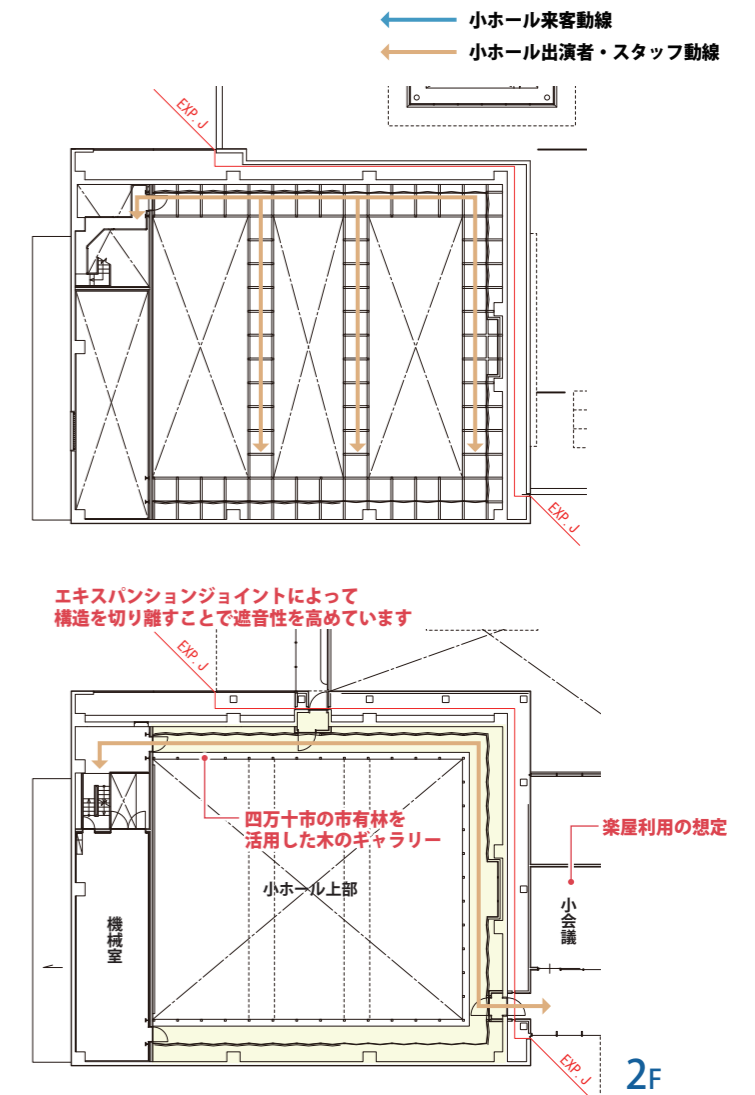
音響反射板形式イメージ



オープンプロセニウム形式イメージ



市民が愛着を感じる魅力的な空間と多様な演出が可能な小ホール

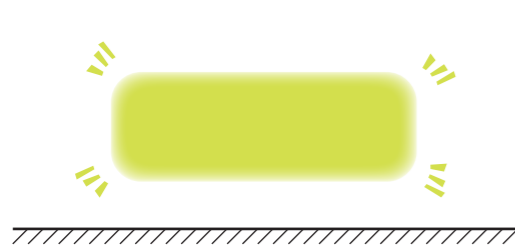


自然と人が集まってくる提灯のような小ホール

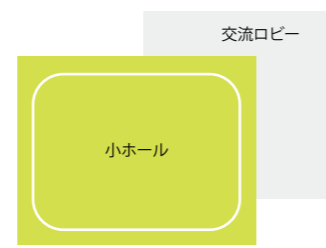
- 四万十市の市有林を用いてギャラリーやキャットウォークを構成し、木に包まれた温かい表情の小ホールとなります。
- 交流ロビーには賑わう活動の音や明かりが滲みだし、ホールがまるで提灯のように、人を引き付け、市民の皆様に親しまれる空間となっていきます。

L型の二重移動間仕切りによって多様な利用が可能になります

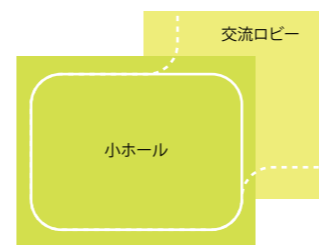
- 二重の遮音壁を閉じてホールとして利用すれば、小規模な演劇の他、社交ダンス、室内楽から中規模な演奏会までさまざまに使えます。
- ガラス遮音壁だけを閉じれば、外から見える催しが可能で、セミナーやワークショップなど、見えていることで目的無く訪れた方にも興味が広がります。
- 二重の遮音壁を開いてしまえば、日常的にはストリートダンスの練習や卓球に利用可能です。イベント時は交流ロビーと一体的にも使うことができます。



提灯のような小ホール



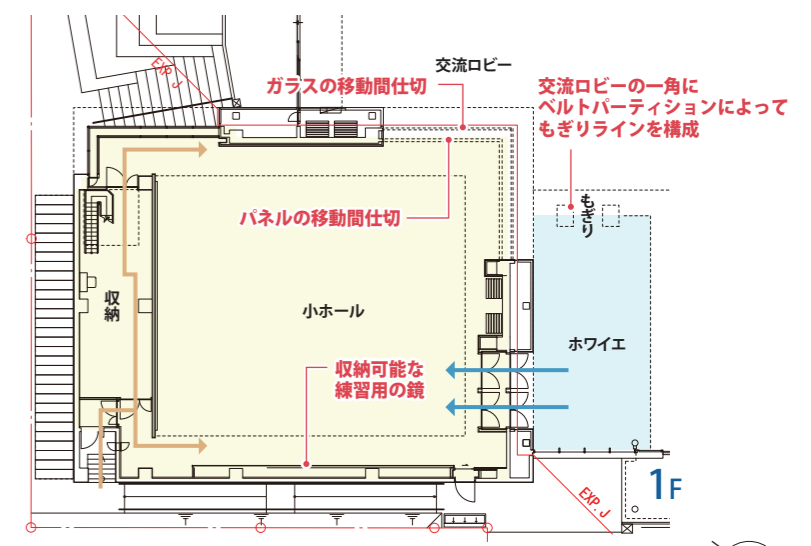
閉じて使う



見せながら使う



一体で使う



平面計画イメージ【S=1/400】